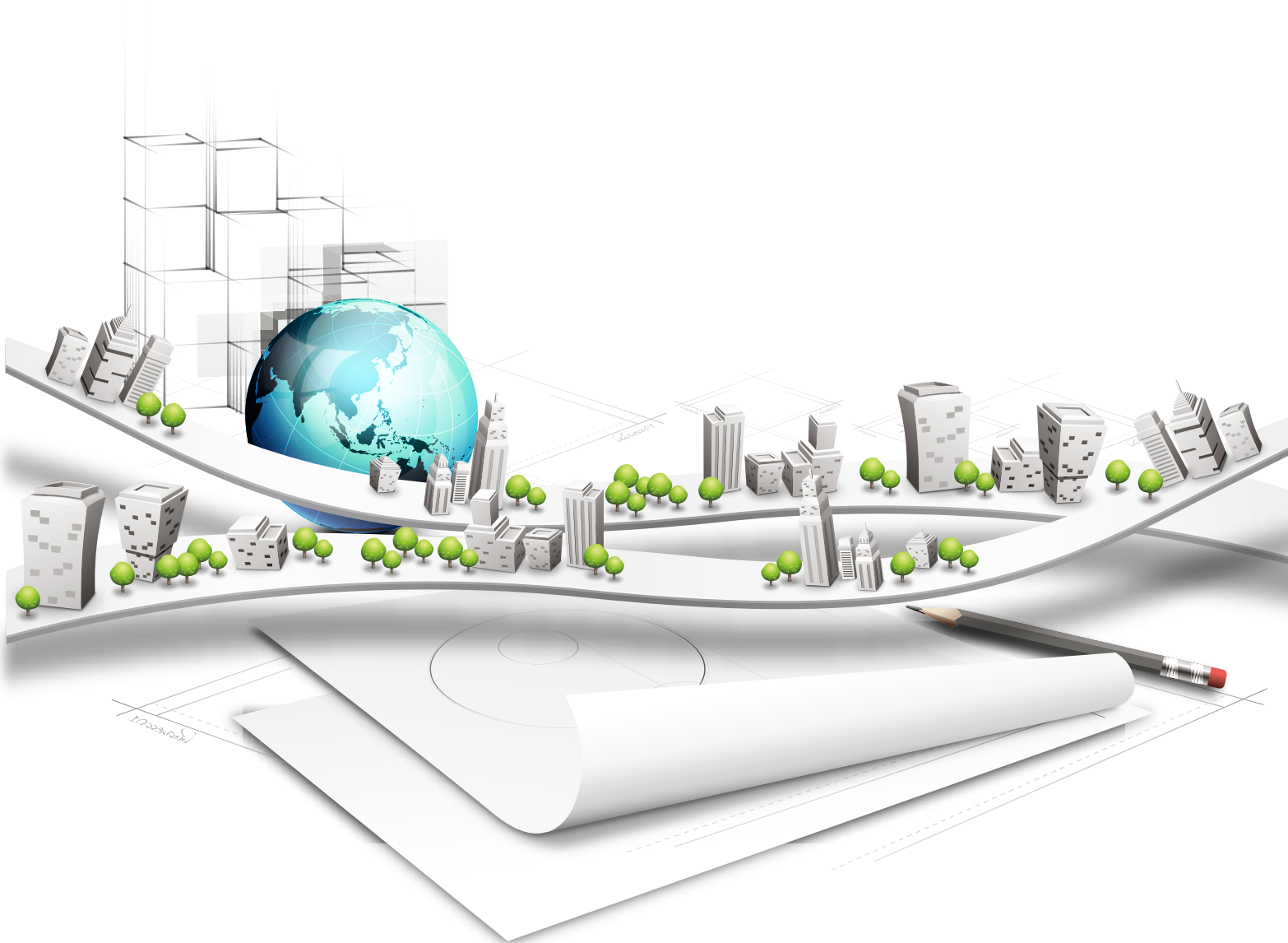


KAJIMAROAD CSR報告書

2014



企業理念

新しい価値創造に挑戦し、 人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する

活動方針

鹿島道路の企業理念である

「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」
のもと、公正で開かれた企業を目指し、
良質かつ適正な価格で社会資本の整備を担っていく事をCSRの基本としています。

1

「お客様本位」と「品質本位」を
第一義とする

2

「鹿島グループ 企業行動規範」の順守を
すべての企業活動の大前提とする

基本方針

	行動指針
品質方針 お客様と社会の要求を把握し、品質と信頼を追求するとともに、全ての活動における仕事の質を向上させて、お客様の満足と安心いただける製品・サービスを提供する。	1.お客様志向(思考) 2.革新への積極的取り組み 3.継続的レベルアップ 4.実践の容易化
環境方針 鹿島道路は、社会資本整備を担う建設業の一員として、人と地球の豊かで快適な環境づくりに重要な役割と責任を担っている。この使命を果たすことにより、地球環境保全と経済活動が両立する持続的発展が可能な社会の実現に貢献する。	1.汚染予防と環境負荷の低減 2.環境保全に関わる技術開発の推進 3.環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守 4.情報開示を含めた社内外のコミュニケーション
安全衛生方針 人命尊重の安全衛生理念に基づき、法規制等を遵守し、安全衛生活動を積極的に推進して、労働災害の防止及び安全で快適な職場環境の形成を図り、生産性の向上に資するとともに社会の信頼確保と会社の持続的な発展を目指す。	1.労働安全衛生に関する法規制及び社内規程の遵守 2.協力会社と一体による安全衛生活動の推進 3.安全施工サイクルの運用による災害・事故防止 4.ワークライフバランスの推進と安全な職場環境の形成

編集方針

鹿島道路は、CSR報告書をステークホルダーの皆さまと当社をつなぐ大切なコミュニケーションツールとして考えています。

CSR報告書は鹿島道路の企業理念である「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」に基づいた2013年度の数多くの取り組みにおいて、特に重要性が高いと考えた項目の中から、鹿島道路の方針や鹿島グループの基本姿勢に沿って編集されています。また、2013年度版も多くのアンケートをお寄せいただき、たくさんの貴重なご意見ご感想をいただきました。今回の編集に当たりましても、アンケート結果をできるだけ取り入れ、内容の改善に努めています。

わたしたちはCSR報告書を充実させ、ステークホルダーの皆さまへ情報を発信できるよう努力してまいりますので、忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

●報告対象期間

2013年度(2013年4月1日~2014年3月31日)
当該年度以外の内容も一部に掲載しています。

●報告書対象組織

原則として鹿島道路株式会社単体の国内外全部門を対象としています。

●発行時期

2014年11月(次回発行予定 2015年9月)

●インターネットによる情報提供

鹿島道路ホームページ

<http://www.kajimaroad.co.jp>

CSRの取り組み

<http://www.kajimaroad.co.jp/corp/csr/index.html>

CONTENTS

社長メッセージ 4

特集

インフラを支える資源をつくる

— 合材製造所が社会に果たす役割 — 6

⇒ **CLOSE-UP**

栗橋合材製造所の取り組み 8

鹿島グループが実践するCSR 10

5つの基本姿勢

◆ コンプライアンスの徹底 12

▲ 働くことに誇りを持てる会社 14

▲ 地球環境保全と環境創造 16

▲ 地域社会との共生 18

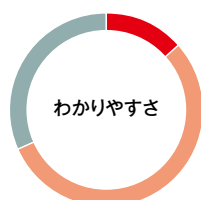
◆ ステークホルダーとの コミュニケーション 20

第三者意見 22

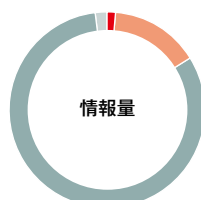
会社データ 23

「CSR報告書2013」のアンケート結果

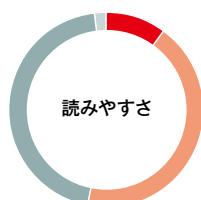
(回答者数:273件)



■ とてもわかりやすい	37件
■ わかりやすい	150件
■ 普通	86件
■ わかりにくい	0件
■ わからない	0件



■ 多すぎる	4件
■ 多い	40件
■ ちょうど良い	224件
■ 少ない	5件
■ 少なすぎる	0件



■ とても読みやすい	28件
■ 読みやすい	117件
■ 普通	123件
■ 読みにくい	5件
■ とても読みにくい	0件

2013年版でいただいたご意見を参考にし、
2014年版では以下を改善しました。

①「さまざまな現場の声を掲載している点が良い。」
2014⇒VOICEに加え、担当者の声「私のCSR」を掲載し、さらに充実させました。

②「品質や製品事業の活動を充実させてほしい。」
2014⇒当社の品質を支える「合材製造所」を、特集で取り上げました。

③「売上高など、会社データも掲載してほしい。」
2014⇒会社データページで、財務情報を充実させました。



新しい価値創造に挑戦し、 人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する

Q1 2013年度の事業活動を振り返るとともに、 社長就任1年目のご感想は？

まずは、日頃よりステークホルダーの皆さまには大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

2013年は国土強靱化、防災・減災、「メンテナンス元年」としての社会インフラの老朽化対策など、人々の暮らしを支え、守るという意味で、世の中の皆さまからインフラの必要性を通して、建設業界の役割をご理解いただいた1年であったと思っています。

こうした中で、当社は役員・社員と協会社が一つになり、社会からの信頼度を高めていくよう努力してきました。工事部門では施工力や現場力の向上に取り組んだ結果、3支店が国土交通省の各地方整備局より工事成績優秀企業に認定されたほか、官庁・民間のお客様から多くの良い評価を

いただくことができました。製品部門では三陸りあすアスコン（岩手県宮古市）の開設や大分・前橋合材製造所のリニューアルなどを行い、地域の皆さまによりよい品質の合材をご提供できるよう努めております。また、GNSS（全地球型測位システム）を用いた情報化施工などの様々な技術開発・機械開発を行っており、今後もさらなる活用を図っていきます。

わたしは社長就任後の1年間、支店、営業所、合材製造所、現場を回り、社員が日々熱心に努力している姿を見ました。また、多くのお客様にもお会いすることができ、鹿島道路に対する熱い期待を感じました。わたしたちが今後も社会やステークホルダーの皆さまからの信頼を高めるべく、努力をし続けていくことで、その期待に十分応えることができると確信しております。

Q2 鹿島道路のCSRのあり方とは？

当社は鹿島グループの一員として、社会および鹿島グループの発展を目的に、活動方針を定め、良質な道路インフラや建物・サービスの提供を行っています。また、品質・環境・安全衛生についてはそれぞれ方針を掲げ、ステークホルダーの皆さまに信頼いただけるよう取り組んでいます。

わたしたちは、経済活動において重要な役割を果たす「道路」を建設している会社であり、事業活動が社会に与える影響力は、人々の生活に直接関わるため非常に大きなものであると考えます。わたしたちが事業を営むに当たり、お客様・地域の皆さま・協力会社・社員など大変多くのステークホルダーの皆様との関わりがあります。ステークホルダーの皆様と当社が良好なコミュニケーションを築き、お互いが発展していくということが最も大切なことだと考えています。それに基づいて、当社には品質・環境・安全衛生・コンプライアンス・財務など様々な面において社員全員が誠実に社会的責任を果たしていくことが求められます。

鹿島グループのCSRの枠組みにあります、5つの要素（コンプライアンスの徹底、働くことに誇りを持てる会社、地球環境保全と環境創造、地域社会との共生、ステークホルダーとのコミュニケーション）への取り組みをより一層強化して、企業価値を高めていくとともに、皆さまから期待される存在であり続けるべく努力をしております。

Q3 社会から信頼、期待される企業となるために、果たすべき使命・責任とは？

社会から信頼、期待される企業となるために、工事部門においては生産性の向上に向けた情報化・機械化・省力化など、常に改善を図り、積極的に技術開発を行っていくことで、高品質な社会資本の整備に貢献することが重要です。また、製品部門ではさらなる効率化を目指した製造管理や設備投資、更新を推進していくことで、品質の高い製品を社会に提供していく必要があります。さらに、当社が大きな価値を生み出すためには、協力会社の存在が重要となります。当社の協力会社は「ろく ぐう かい鹿友会」として組織され、全国の拠点において事業を支えていただいています。当社は最高のパートナー

である「鹿友会」とともに社会に貢献していきたいと思っています。

当社が使命や責任を果たしていく上では、働いている社員や協力会社の皆さまが、健康で安全な働きやすい職場環境で仕事をするのが大前提にあります。当社は現場をはじめ各事業所における職場の安全衛生管理を徹底し、災害事故の撲滅に努めてまいります。また、ワークライフバランスを考えた生き生きと働きやすい環境づくりにも全社を挙げて取り組んでまいります。

私は社長就任以来、新5K（『期待される』『気概をもって取り組み』『将来に希望をもって』『快適な環境づくり』『感動する作品づくり』）というキャッチフレーズを推進しています。全社員と協力会社の皆さまが、新5Kを実践することで初めて、お客様や地域の皆さまに喜んでもらえる、感動してもらえるものと信じていますので、社員と協力会社、そしてそのご家族の皆さまには、是非この新5Kを実感してもらいたいと望んでいます。

Q4 ステークホルダーの皆さまへのメッセージをお願いします。

この度、CSR報告書2014の発行に際して、2013年度のCSR活動を振り返るとともに、特集では、合材製造所について取り上げました。道路を舗装する際には、アスファルト合材が欠かせません。合材製造所において、良い品質のアスファルト合材を供給し、お客様に安全に納入することは、道路インフラの整備にとって大きな役割を果たすことになります。また、舗装発生材を再利用した資源循環型社会の形成、地球環境に配慮した機械設備の充実、資機材などが常備されていることによる災害時の復旧拠点機能の向上など、当社の合材製造所が日々努力し、どのような形で社会に貢献しているのかをご覧くださいと思います。さらに、社員や協力会社、お客様からの声もできるだけ多く載せており、当社のCSR活動をより深く理解していただけるものと思います。

鹿島道路はステークホルダーの皆さまとともに、今後もさらなる発展を目指してまいりますので、これまでと変わらぬご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

インフラを支える資源をつくる — 合材製造所が社会に果たす役割 —

道路建設に必要なアスファルト合材

インフラ整備の基礎となる道路を舗装するため、アスファルト合材(以下合材)は欠かせない材料です。合材とは、アスファルト・骨材(碎石や砂)・石粉を混合したもので、舗装の用途により密粒・排水性などの多くの種類があります。さらに、既存の道路から発生したアスファルト塊を破碎し、再生骨材として利用した再生合材も製造しています。また緊急時の応急補修や簡易な舗装材料として常温の合材も製造所に常備しています。

鹿島道路では、全国に合材の製造・販売を行う合材製造所が61カ所あり、道路の舗装を通じて、ステークホルダーの皆さまが快適に生活できるよう、日々良い品質の合材を供給しています。

合材製造所の果たす役割

■品質の良い合材の供給

合材製造所では、合材の品質管理を徹底しています。また、合材をお客様に納入する際には協力会社のダンプトラックが運搬をします。当社と協力会社は連携を取りながら、適切な温度でかつ安全に現場へ納入するよう努めています。

■資源循環型社会の形成への貢献

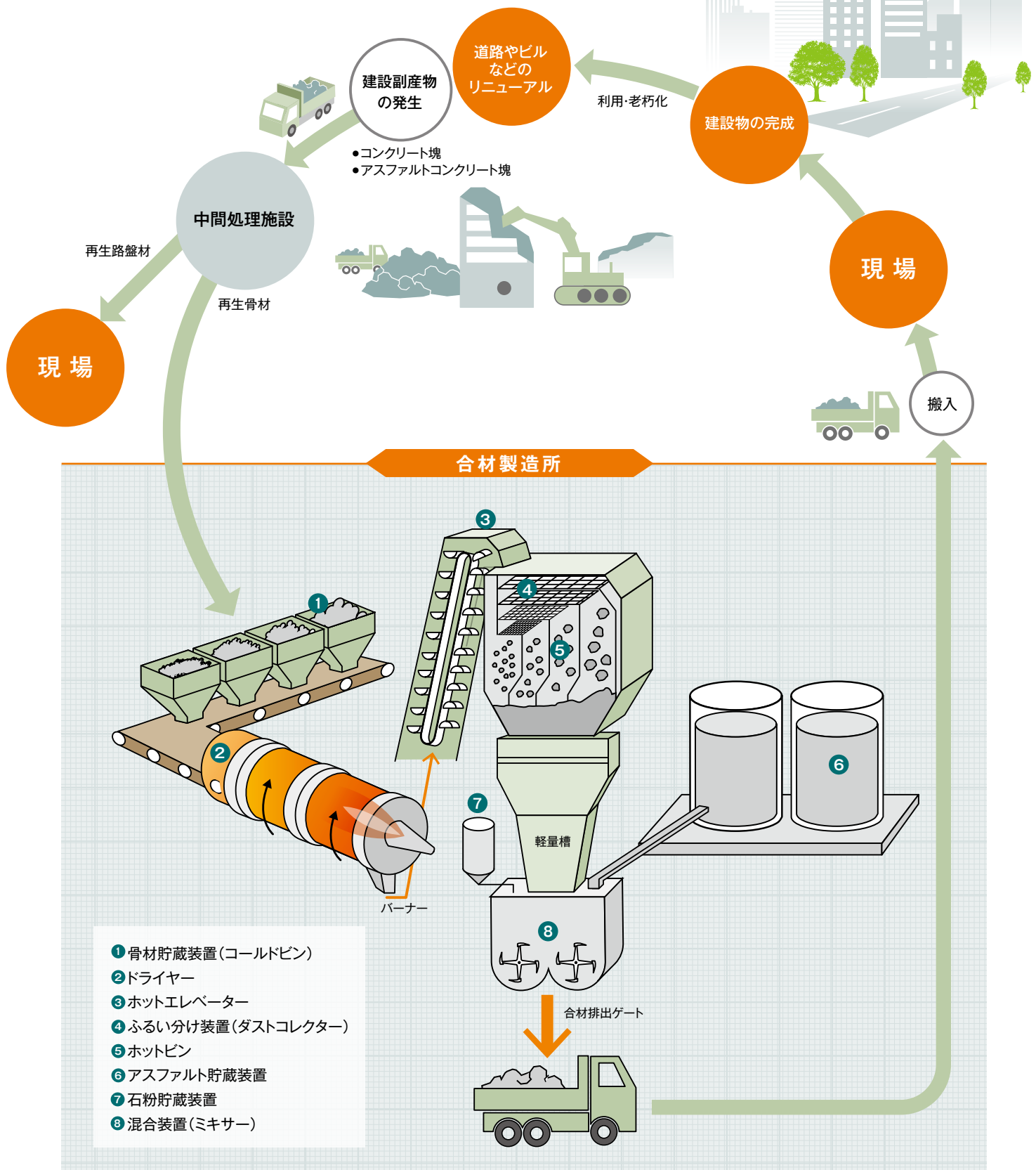
現場から発生したアスファルト塊を搬入した後、中間処理施設にて破碎処理を行い、製造した材料(再生骨材)を利用して再生合材を製造しています。古くなった舗装発生材を再利用することにより、資源循環型社会を形成するために貢献しています。

■災害時の拠点としての機能

舗装材料だけでなく、タイヤショベルなどの重機・ダンプトラックが配備されており、緊急事態が発生した場合、速やかに地域社会への資材や機材などを提供できる体制となっています。鹿島道路の合材製造所は道路インフラの整備だけでなく、災害時にもその責任を果たしています。



「循環型社会の形式と 災害時の拠点機能としての貢献」



⇒ CLOSE-UP

「栗橋合材製造所の取り組み」

Comment

アスファルト合材 = 大切な商品

栗橋合材製造所ではお客様のニーズにお応えするため、高品質の各種合材を迅速に出荷できる、コンピュータ制御による徹底した生産管理を行っています。環境面では、臭気を高温で燃焼させる脱臭装置や、低騒音・粉塵抑制のためのプラント設備を建屋内に収めるなどの、周辺地域の皆さまに安心して生活していただけるように配慮した「都市型プラント」として運営しています。また、敷地内には建設副産物をリサイクルできる中間処理施設もあり、循環型社会実現の一端を担っています。東日本大震災の際には近隣の南栗橋地区で液状化現象が発生し、道路、上下水道などライフラインも甚大な被害を受け、当工場は道路復興工事へのアスファルト合材供給拠点として地域に貢献することができました。万が一災害が発生した際にも役立つ資材や重機・ダ

ンプトラックなどの必要資源を常時提供できる体制を整えております。アスファルト合材は数ある建設資材の一部であるものの“大切な商品”であるという商品意識を所員全員・協力会社とともに持ち高品質な商品製造・提供を目指しています。その“大切な商品”をお客様の現場により早く届けるまでの安全な運行も運送会社とともに取り組み、当社のCSR活動方針の一つであります「お客様本位」と「品質本位」を第一義としてレベルアップを図っていきます。

製造所長 苔米地 修



栗橋合材製造所 概要

所在地 埼玉県久喜市高柳2600
 施設概要 アスファルトプラント 120t/h リサイクルプラント60t/h
 合材サイロ 80t、100t、120t クラッシングプラント 60t/h
 取扱品目 各種アスファルト合材の製造・販売、建設副産物の受入・
 破碎処分(アスファルト廃材・コンクリート廃材)、再生路盤
 材の製造・販売、技術支援(性能発注、現場支援)



品質管理

常に高品質な合材を提供

香西 孝之



常に高品質のアスファルト合材を提供するよう心掛けています。通常の試験では結果が出るまでに数日を要する項目もあるため、リアルタイムに管理する手法として目視観察を重要視しています。日々試験値との整合性を確認し、目視確認の精度を高めて、異常があった場合は即対応出来るようにしています。出荷後は現場に出向き、出来栄や、お客様のご意見を聞いてフィードバックして、品質向上に努めています。

機械

製造におけるサービスの重要性

上野 紀彦



当プラントでは“お客様第一”に考えて日々業務に動んでいます。製造を担当している立場としては、プラントのトラブルによる出荷停止、不適合品によるクレーム等、お客様に迷惑をかけないように日常点検の強化や品質のチェックを行っています。これからもお客様の立場になって、製品の安定供給や木目細かいサービスを提供して、お客様に喜ばれるような製品をつくりたいと思います。

事務

良い合材を製造するための環境づくり

山本 翔太郎



当プラントの事務を担当して2カ月が経過しますが、合材に関して知識が浅いわたしが良い合材製造のためにできることといえば、プラント場内の環境を良くすることです。雑草の除去や清掃等を行い、合材に不要なものが混ざることのないように身の周りの美化を心がけています。また、窓口にお客様が来られた時は、明るく元気に接するよう心がけています。わたしたちが製造する合材が少しでも皆さまの役に立てることを願っています。

営業

私のお客様との接し方の心得

森 孝則



日頃お客様の要望に、できる限り応えるように日々の打ち合わせを行っています。また、品質・運搬に注意し、お客様に満足して頂ける様心掛けて活動しております。具体的な活動内容は、舗装前日に現場担当者とスタート時間・ダンプの台数・現場の注意事項について打ち合わせします。また、舗設当日も現場担当者と品質・運搬車両運転手について、気づかれた事柄を聞き、今後の反省および感謝された事柄を所内の打ち合わせの席で周知しています。

協力会社 運転手

チームワークの「大興」

(株)大興 古川 省二 様

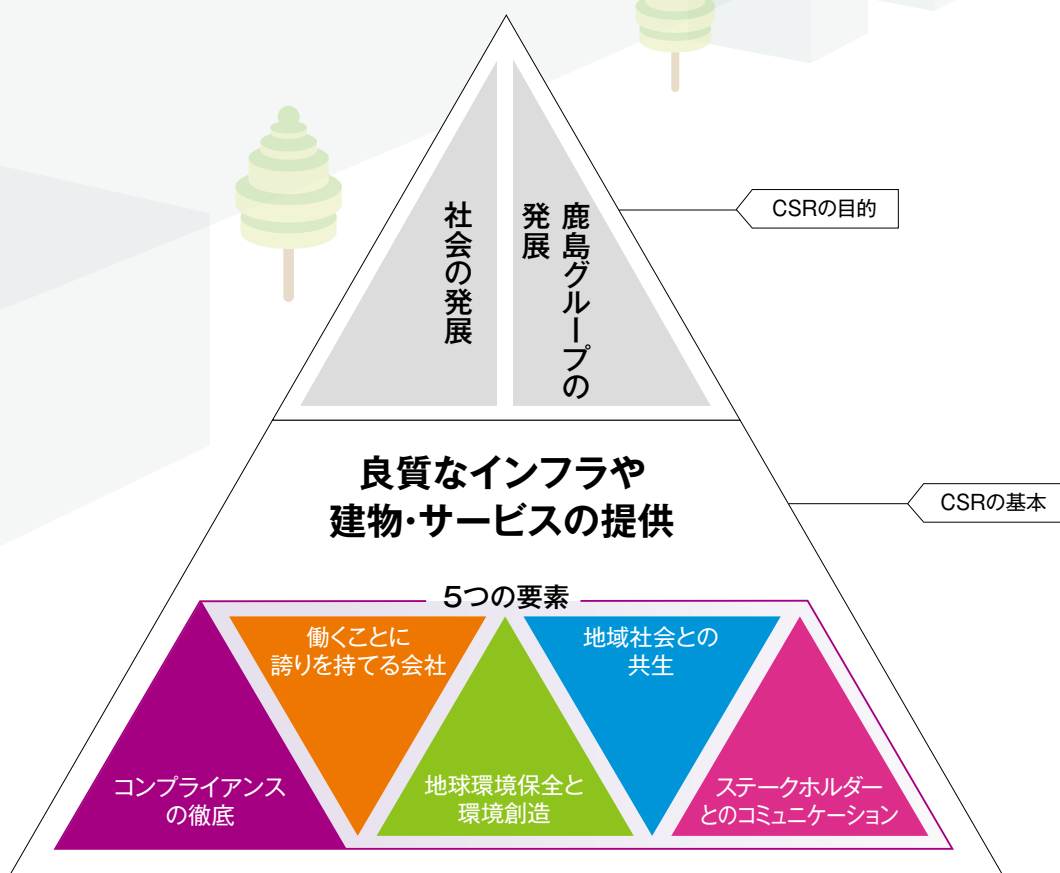


わたしは、大切な商品を安全に運搬をするためには、チームワークが大事だと考えています。トラックドライバーは、いかなる場合でも自分で判断して一人で仕事をしていると思われる方も多いと思いますが、大興は運転手が一致団結して仕事に向かっています。常にコミュニケーションを取り合い、事故防止につなげています。チームでまとまることにより、お客様の信頼を得ることにつながるように心がけています。



鹿島グループのCSRの枠組み

鹿島グループは、鹿島建設の「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念に基づいて「CSRの枠組み」を定め、グループ全体でCSR活動を進めています。



CSRの目的

鹿島グループのCSRの本質は、社会や時代の要請に応え、公正な企業活動を通じて多様なステークホルダーと良好な関係を築き、保っていくことと考えています。建設業の成果は長い期間にわたって、直接社会や人々の生活を支えるものであり、社会や顧客の永続的な信頼のもとに、社会の持続的な向上と建設業、ひいては当社の安定的な発展を共存させていくことが、鹿島グループのCSRの実践で目指すものです。

CSRの基本

「CSRの目的」を果たすためには、何よりもまず高い企業倫理と強い使命感に貫かれた誠実な企業であるとともに、たゆまぬ研鑽による高度な技術力をもとに、良質なインフラや建物・サービスを提供し続けることが肝要です。社会や顧客からの信頼の基盤は確かな品質にあります。「良質なインフラや建物・サービスの提供」によって信頼を築き、社会への貢献と、顧客の利便・快適・安心の充足を通じて永続的な評価を受けることが、鹿島グループのCSRの基本です。

「CSRの基本」を織り成す5つの要素



コンプライアンスの徹底

建設業界は「貢献度は高いが、好感度は低い」との評価をこれまで受けてきましたが、社会や人の生活を支える仕事の責任の重さを考える時、信頼される企業への努力の大切さを改めて認識しています。コンプライアンスの徹底とは、諸法令の遵守は当然として、さらに高い企業倫理に貫かれた誠実な企業を社員一人ひとりが目指すことです。



P.12



働くことに誇りを持てる会社

建設業は、多くの職種の協力会社の人々と一体となって工事の完成を目指して努力しており、まさに一人ひとりの能力が財産と言えます。多くの人々が働く現場が、安全で相互に信頼し合え、かつ私たちの仕事が社会を支えているとの使命感に満ちた「働きやすく誇りある」現場であるよう、環境の整備と意識の啓発に努めています。



P.14



地球環境保全と環境創造

建設業は資源多消費産業であり、自然環境に手を加えることが多い産業です。環境に対しては常に感度が高く、礼儀正しい企業でありたいと考えています。地球環境の保全は「次世代への責務」と考え、顧客への前向きな企画提案とともに、日々の事業活動における環境負荷の低減に注力していきます。



P.16



地域社会との共生

建設業は、地域社会のご理解とご協力なしには円滑な事業遂行ができません。自然災害大国の日本において、自然災害発生時における主体的役割や備えも建設業に期待されるCSR活動の例です。



P.18



ステークホルダーとのコミュニケーション

建設業界はこれまで社会的使命や日々の事業活動について、必ずしも積極的に社会に対して発信してこなかった部分があります。誠実な情報発信もまた企業への信頼の基本であることを踏まえ、社会への関心と貢献に関してもっと積極的かつ熱心に情報発信を行い、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを図っていきます。



P.20

鹿島グループ企業行動規範

1 公正で誠実な企業活動

- 1 法令の遵守と良識ある行動
- 2 社会のニーズと顧客満足の重視
- 3 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引
- 4 知的財産、その他の権利・財産等の保護
- 5 政治・行政との透明な関係
- 6 反社会的行為の根絶
- 7 企業会計の適正性確保

2 社会との調和

- 1 社会との良好な関係の構築
- 2 あらゆる国、地域における文化、慣習の尊重
- 3 適時、適切な開示とコミュニケーション

3 人間尊重

- 1 差別や不当な取扱いの禁止
- 2 安全で働きやすい職場環境の確保
- 3 能力、個性を尊重した人事処遇、人材育成
- 4 児童労働・強制労働の禁止

4 環境への責任

- 1 環境問題への取り組み

5 企業行動規範の運用

- 1 教育と啓蒙
- 2 実効ある社内体制の整備

6 違背する事態が発生した場合

- 1 再発防止と説明責任
- 2 厳正な処分

コンプライアンスの徹底



信頼される企業であるために

当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼される企業であり続けるため、鹿島グループの一員としてコンプライアンスを徹底し、リスクを管理しながら業務を適正に遂行するための内部統制システムの整備を推進しています。

鹿島グループ企業行動規範の浸透

健全な企業活動を行うためのしくみの一つとして、「鹿島グループ企業行動規範」を採択し、全役員・社員の理解と実践を促しています。

また、毎年eラーニング(インターネットによる教育)による研修で、企業行動規範がどのように理解され、浸透しているかを確認しています。

談合防止体制の運用強化

談合防止体制の整備と順守状況のチェック、さらに法令違反が疑われる行為を行っていないことを確認するとともに、営業に携わる役員・社員から談合を行わない旨を記した誓約書の提出を求めています。

また、独占禁止法委員会を開催するとともに、毎年鹿島建設の主催する独占禁止法研修会にも営業担当者が出席し、法令順守の意識の啓発を図っています。

反社会的行為の根絶

「鹿島グループ企業行動規範」において、暴力団をはじめとする反社会的勢力と一切関係を持たないことを宣言し、社内の講習会などで「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団を利用しない」「暴力団と交際しない」の「4ない」の推進を行っています。また、反社会的勢力対応の規程および反社会的勢力対応の手引きを作成し、周知徹底を図っています。

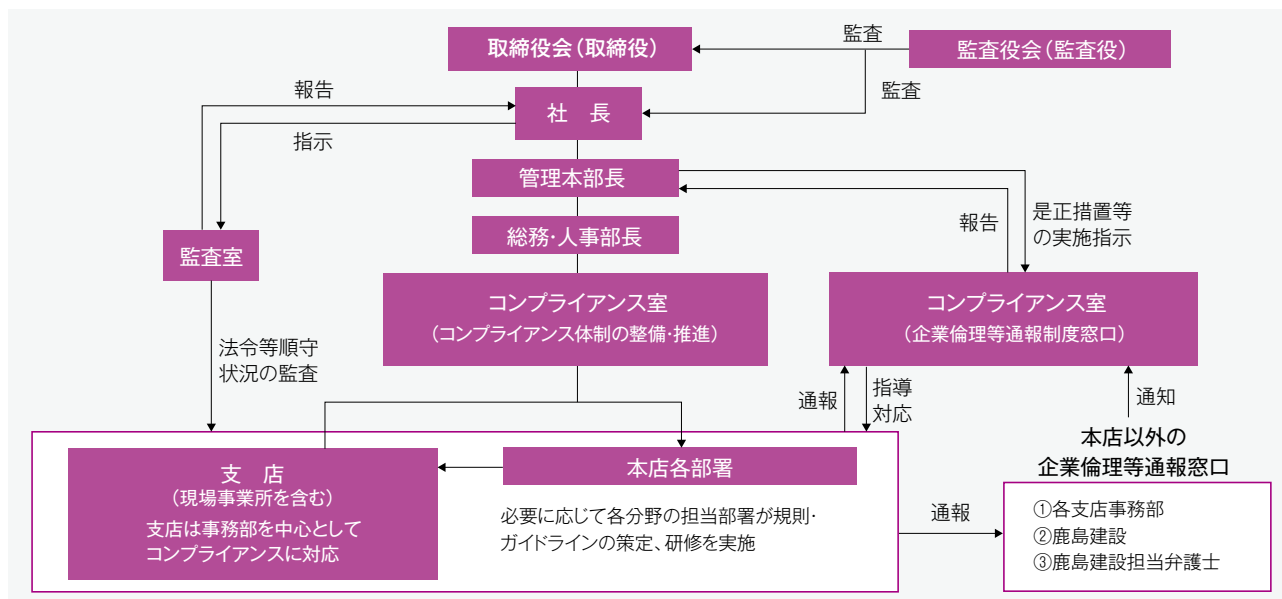
協力会社との適切な取引

取引上の地位を利用し、不当に低い発注金額で協力会社と請負契約を締結すること、下請代金の支払を遅らせること、一般の金融機関による割引を受けることが困難と認められる手形の発行を行いません。

内部通報制度の整備

役員・社員などによる法令違反や不正行為の発生(あるいはその兆候)を知った者から直接通報を受け付けるホットライン企業倫理等通報制度を整備しています。

コンプライアンス体制



企業の個人情報漏えいや内部情報流出などが社会問題となっており、情報セキュリティの重要性を「eラーニング」を通じて学びました。個人所有の機器を使わないことや書類を破棄する時はシュレッダーを使う等、身近な事から徹底しています。



東京支店 事務部

堤 安弘

コンプライアンスの徹底

情報セキュリティと企業としての信頼

情報セキュリティの意識向上

顧客および取引先の信頼を得るため、個人情報をはじめとした顧客情報や企業情報などを保護する目的で「情報セキュリティポリシー」※1を制定しています。

これは、社員が情報資産をどのような脅威からどのように守るかについての基本的な考え方と、情報セキュリティを確保するための具体的な行動を示した規程です。

※1 情報セキュリティポリシー

「情報セキュリティ規程」、「情報セキュリティ対策行動規範」、「情報セキュリティ実施要領」によって構成



新入社員研修における
情報セキュリティ教育

2013年度の活動内容

4月	情報セキュリティ対策行動規範一部改正
6月	情報セキュリティ強化対策ハンドブック改正
8月	情報セキュリティeラーニング実施(全社員)
9月	情報セキュリティ自己点検実施(全社員)
11月	情報セキュリティパトロール(関東・東京・中四国・九州)
通年	Windows7/Office2010、HDD暗号化PCへの切替え

内部統制への対応

会社法におけるリスク管理と活動内容

法令、品質・生産、労働安全衛生をはじめとした様々なリスクを把握・特定することから始まり、リスクの発生防止と低減のために全社的活動を実施しています。

2013年度の活動内容

6月	各部署、各支店、子会社ごとに「リスク自己点検実施計画書」を作成し、鹿島建設に提出しています。
9月、12月、3月	計画書に基づき、実施した結果を年に3回監査室へ提出しています。
1月	その前年の12月までの実施記録を取り纏め、経営者に報告の上、鹿島建設に提出しています。
5月(次年度)	一年間のリスク自己点検実施記録を取り纏め、「リスク管理委員会」を開催し、取締役会に諮っています。

また、仮にリスクが実際に発生した際には、リスクによる被害を最小限に抑える措置を講じます。

金融商品取引法における内部統制

財務報告に係る内部統制が有効に機能していることを確認するため、内部統制運用状況の自己点検を実施し、不備事項が発見された場合は、改善確認と再評価を実施しています。

2013年度の活動内容

- 1 監査室が各支店の業務プロセスについて、自己点検結果に基づき評価をしています。
- 2 鹿島建設から金融商品取引法に関する監査を受け、結果について取締役会に諮っています。

会計業務監査の実施

支店および管下事業所、子会社の会計業務監査を実施しています(法規・社内規程順守度チェック)。

2013年度の活動内容

期首に計画書を作成し、規程、ルールからの逸脱がないかどうかを毎月監査し、社長ほか役員に報告書を提出しています。改善を要する点については関連部署にも報告しています。

著作権の対応について

新聞や書籍、地図などの著作物を無断でコピーまたはPDF化し、業務で使用することは、著作権法違反にあたるため、鹿島グループにおけるコンプライアンスの徹底により、当社は適切に対応していく必要があります。

新聞・書籍・地図について各法人と複製利用許諾に関する契約を締結しています。また、それ以外の媒体についても都度許諾を得ることにより、著作物を複製し情報伝達や提出資料などに利用しています。

	主な利用承諾先
新聞	日本経済新聞社・日刊建設工業新聞社・日刊建設通信新聞社・日刊建設産業新聞社ほか
書籍	公益社団法人日本複製権センター
地図	株式会社昭文社

働くことに誇りを持てる会社



「新5K」の策定と推進

建設業界は、防災減災・老朽化対策や東京オリンピックの開催に向けた整備推進等建設市場が拡大傾向にある一方で、これまでの労働環境や作業内容がきつい・汚い・危険という、言わば3Kイメージの定着から、特に将来を担う若者の就職希望者が減少傾向にあり、非常に強い危機感を抱いています。

当社では、マイナスイメージの3Kから脱却を図るとともに、職場環境の改善に向けて「期待(K)される」「気概(K)を持って取り組む」「将来に希望(K)をもって」「快適な環境(K)づくり」「感動(K)できる作品づくり」とした『新5K』を新たなキャッチフレーズとして、これらを実感できる職場にしていこう前向きに取り組んでいくことを内外にアピールしていきます。

この『新5K』は住吉社長が2013年6月就任時に発表したもので、新5K実践の一環として、ポスターを制作し、ビジュアル的にも認識させることにより、一層の啓蒙を図っていきます。

新5Kポスターは、本店・支店・営業所・出張所・合材製造所など各事業所に配布されるほか、鹿友会会員会社をはじめとする協力会社へも配布されています。



新5K推進ポスター

鹿島道路の人材

当社では、様々な個性や能力を持った社員が働き、社会に貢献しています。採用においては、大卒、高卒、経験者、障がい者など幅広い人材を対象としており、国籍、性別、年齢、障がいにとらわれない採用を実施しています。

入社後は、土木・建築・製品・機械・営業・事務など各部門において研修等の教育の充実を図り、人材育成に努めています。また、より働きやすい、働きがいのある職場に向けて、会社全体が常に改善を心がけ取り組んでいます。

人事データ

(年度)

	2011	2012	2013
社員数(名)	988	985	975
新入社員数(名)	24	31	34
再雇用者数(名)	37	33	32
障がい者雇用率	1.66%	1.58%	1.68%
離職率※1	33%	12%	5%
育児・介護休業取得者数(名)	1	0	2

※1 入社3年以内に離職した比率

人材育成

スキルアップに向けた研修・講習の開催

社員のスキルアップに向けて、本店および支店において土木・建築・製品・機械・営業・事務など各分野で研修などの集合教育を実施しています。主な取り組みとして、工事担当者への集合教育(施工事例・災害防止など)〈北陸・中部・関西・中四国支店〉・建築支店会議(施工事例・災害防止)〈各支店〉・品質管理担当者勉強会〈中部支店〉その他に各協会主催の勉強会への参加、資格取得への勉強会も実施して、常にレベルアップを図ることに努めています。

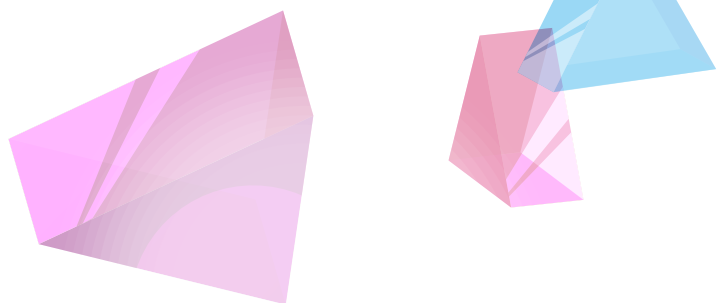
土木・建築系社員の集合教育

～関西支店での取り組み～

関西支店では土木・建築系社員に対して毎年集合教育を実施しています。優秀工事や特殊工事の施工事例だけでなく、不具合が発生した現場の事例についても発表があり、情報を共有するとともに、様々な事例発表を通して各現場に生かせる内容になるよう充実を図っています。また、施工面だけでなく、契約や発注、製品部門などの工事を取り巻く多くの事柄についても学んでいます。



集合教育の様子



人事で採用を担当しています。
新入社員研修で行うボランティア研修では、新入社員と一緒に作業に参加し、研修の引率者ではなく、なんでも相談できる先輩社員になるよう心がけています。
一人ひとりがいきいきと、やりがいをもって楽しく働ける環境を目指しています。

私のCSR



総務・人事部 係長 **金井 雄一**

安全な労働環境の整備

死亡・重篤・重大災害ゼロを目指して(活動実施状況)

鹿島道路は、安全衛生方針に則り、災害発生防止に努めています。

2013年度安全衛生方針

1. 安全衛生・環境関係法規及び会社方針、社内基準等を順守しあらゆる違反行為をなくす
2. リスクアセスメントを基軸とした、労働災害防止活動を積極的に推進し、継続的施策により、災害・事故の三要因(人的・物的・管理的要因)を排除する
3. 真の原因究明と責任の明確化、背景の顕在化による、繰返す類似災害の再発を防止する
4. 産業廃棄物の適正処理

2013年度目標値と実績および活動実施状況

	死亡・重篤・重大災害	度数率	強度率
目 標	0件	1.00以下	0.02以下
実 績	1件	0.78	0.86

2013年度は労働基準法違反による有罪判決を受け、関東地方整備局より処分を受けました。現在、就労管理について対策を講じ、再発防止に努めています。

重点課題	実施項目	実施計画	実施状況	補足
計画的な教育の実施による法順守意識の醸成	各種教育	18回／年	14回	職長・統括・周知会 他
定期的現場点検と実効性のある継続的指導	安全環境パトロール	110現場／年	138現場	
再発防止対策の充実	災害事故事例の展開		1124件(内、参考事例14件)	社内イントラに掲載
産業廃棄物の適正処理	パトロール	50現場／年	53現場	



安全パトロールの様子



がん対策推進企業アクションのパートナー企業に登録されました

現在、国民の約3人に1人が“がん”で死亡しており、その割合は世界でも突出しています。厚生労働省は従業員と家族に対するがんの早期発見・早期治療によって、企業の人材の損失を防ぎ、安心して働けることなどを目的に、「がん対策推進企業アクション」を推進しています。この度、当社は推進パートナー企業に登録し、がん検診受診率の向上を目指し、取り組んでまいります。

がん対策推進企業アクションHPアドレス
<http://www.gankenshin50.go.jp>



働くことに誇りを持つ会社

名古屋営業所の建て替え

2013年12月に名古屋営業所の建て替えが完成しました。建物は3階建てで、1・2階部分は事務所、3階部分は社員宿舎になっています。快適な事務所での仕事や宿舎での生活によって、新5Kの一つである「快適な環境づくり」の実現を目指しています。



名古屋営業所



名古屋営業所内宿舎

地球環境保全と環境創造

環境方針と行動指針

環境方針

鹿島道路は、社会資本整備を担う建設業界の一員として、人と地球の豊かで快適な環境づくりに重要な役割と責任を担っている。

この使命を果たすことにより、地球環境保全と経済活動が両立する持続的発展が可能な社会の実現に貢献する。

行動指針

1. 汚染予防と環境負荷の低減
2. 環境保全に関わる技術開発の推進
3. 環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守
4. 情報開示を含めた社内外のコミュニケーション

1. 汚染予防と環境負荷の低減

合材製造所の都市ガス化と

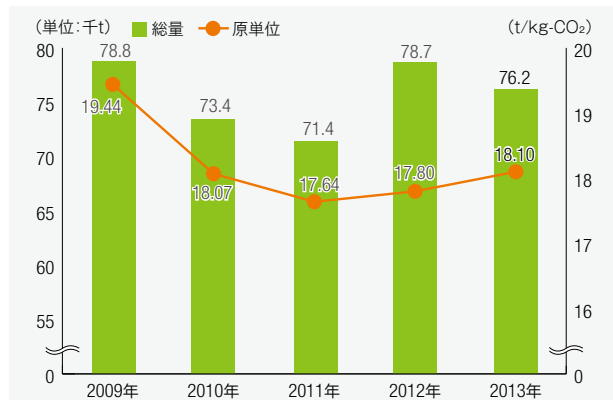
高効率バーナーへの切り替えによるCO₂削減

当社の合材製造所では、アスファルト合材の製造に伴って発生するCO₂の排出量を削減するために、機械を稼働する燃料については重油から都市ガスに切り替え、設備については高効率バーナーを導入することによって、環境負荷低減に努めています。

CO₂排出量の総量は2009年度78.8千トンからアスファルト合材の出荷量に比例して年々減少しましたが、2012年度には78.7千トンまで増加し、2013年度は76.2千トンに減少しています。原単位(t当たり)では2013年度は18.1t/kg-CO₂となり、2012年度より0.3t/kg-CO₂増加しました。2009年度比では6.9%削減しています。



製品部門CO₂発生量と原単位(t当たり)発生量

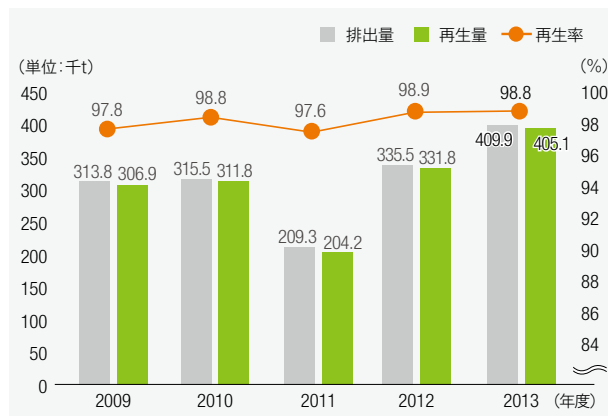


産業廃棄物排出量と再資源化率

当社では、廃棄物を「少なくすること(Reduce)」、「そのまま使えるものは使うこと(Reuse)」、「手を加えてまた使えるようにすること(Recycle)」(3R)が重要と考えており、循環型社会への取り組みとして全国に中間処理施設を設け、アスコンやコンクリートのリサイクル事業を展開しています。



排出量と再生量



改正省エネ法への対応

2013年度の対前年度比の原単位は99.9%で、0.1%削減することができました。

管理指定工場における改善が全社に及ぼす影響が大きく、合材生産量アップとともに老朽設備の高効率設備への更新、燃費改善活動の継続が必要になっています。

※その他の詳細な環境データはWebサイトをご覧ください。 <http://www.kajimaro.co.jp/corp/csr/csr.html>

環境配慮型コンクリート舗装の技術開発を行っています。雨水を地下に浸透させ、沿道住民への騒音対策に寄与するポーラスコンクリート舗装は最たるものです。現在は、さらに環境創造に寄与するコンクリート舗装の開発を進めています。

私のCSR

技術研究所 係長

横田 慎也



2. 環境保全に関わる技術開発の推進

中温化技術

中温化舗装は、低炭素舗装の一つとして世界中で広まりつつあり、最近では、2010年2月に中温化アスファルト混合物がグリーン購入法に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達品目に追加され、今後ますますの活用促進が期待されています。

当社においては、2000年1月にプラントミックスタイプの発泡系中温化剤を製品化し、現在までに数多くの施工実績を有しています。また、2012年度には新たにプレミックスタイプ(粘弾性調整系)の中温化剤を開発し、アスファルトプラントでの投入手間を省き、かつこれまでの発泡系では不可能であったサイロ貯蔵を実現しました。さらに今回、従来の温度低減効果を飛躍的に向上させることに成功し、最大で50℃の温度低減が可能な中温化剤を開発しました。2014年度は、本製品を実際の舗装工事に順次適用していく予定です。

中温化技術とは

中温化技術は、アスファルト混合物製造時の加熱温度を30℃程度低減させる技術のことで、加熱に必要な重油等の消費量やCO₂の排出量抑制に寄与する技術です。今回、鹿島道路では加熱温度を50℃低減できる技術を開発しました。本技術の活用がより一層の環境保全に貢献できるものと期待しています。

霧島太陽光発電所の開設

当社は鹿児島空港に近接した旧アスファルト合材製造所の跡地のうち約3,000㎡を利用した自社太陽光発電所(発電量:100kWh)を完成させ、2014年2月5日より今後20年間の売電事業を開始しました。当社はこれまで太陽光発電工事を多く受注し、施工実績を上げていますが、自社での発電所の設置は初となります。当社のメガソーラー関連工事は電気設備工事以外の造成・基礎・架台設置・パネル設置工事を主としていますが、今後は電気設備も含めた工事全体の施工に取り組み、環境への貢献を図っていきます。



3. 環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守

鹿島道路は、2013年度の施工、製造、設計、技術、オフィス等、すべてに関する環境関連法規および要求等を100%順守しています。

4. 情報開示を含めた社内外のコミュニケーション

北日本支店 NEXCO八戸の補修工事が3R会長賞を受賞

東日本高速道路株式会社東北支社八戸管理事務所様とともに、八戸自動車道一戸～八戸間舗装補修工事で採用・実施した『路上再生路盤工法(セメント・フォームドアスファルト安定処理路盤工法:CFA工法)』で、2013年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者表彰会長賞^{※1}を受賞しました。

CFA工法(当社工法名:SKS工法)とは、既設の老朽化したアスファルト舗装を原位置で破碎し、同時にこれと既設路盤材料にセメントとフォームドアスファルトを添加・混合し、締固め、安定処理路盤を再構築するものです。

同工法の適用により廃棄物の発生量を、全改良面積を打換えた場合の10,135トン(想定量)に対し、2,648トンと74%の削減を実現し、さらに、通常の打換え工法に比べ施工速度も速いため、施工中の交通影響を最小限にとどめることができました。



※1 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会が、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再資源化(リサイクル)に取り組み顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰するものです。

中部支店が名古屋市優良エコ事業所に認定

当社中部支店は2013年5月、既に認定を受けている『エコ事業所』の認定更新と同年7月には、さらに取り組み実績レベルの高い『優良エコ事業所』の認定を受けました。

『優良エコ事業所』は名古屋市内にある事業所対象で、温室効果ガス年間排出量の諸基準をクリアし、環境に配慮した取り組み結果をまとめた環境活動レポートを提出・公表しはじめて申請できるものです。今後もより一層の取り組みを続けていきます。



地域社会との共生

地域社会貢献

朝里中学校玄関スロープ設置

北海道支店は、北海道小樽市立朝里中学校の生徒用玄関にスロープの設置を行いました。車椅子を使う生徒が入学するため学校施設の整備が急務となっていたところ、玄関脇の階段を一部撤去してアスファルト合材でスロープを整備しました。学校の関係者の方々からその善意に感謝されました。



鳥屋野潟清掃活動

北陸支店では、新潟市中央区神道寺2丁目地内鳥屋野潟周辺の清掃活動を実施しました。

近年ごみの量および悪質な投棄が増えており、可燃ごみ、不燃ごみの収集のほか、イスやロッカーなどの粗大ごみを撤去し、地域のお手伝いを行いました。



除雪

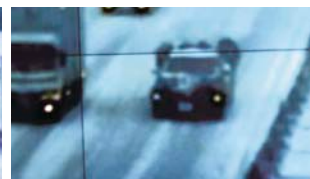
2014年2月8日、首都圏には降雪量27cmの大雪が降りました。東京支店東京第一営業所で施工中の荒川河口橋補修工事の現場に隣接する上り坂(国道357号)で、現場担当者が立ち往生した車両による交通渋滞を発見し、いち早く救助および交通整理を行いました。国交省より、「建設業への期待に応える活動」として感謝状をいただきました。



交通誘導する鹿島道路職員



鹿島道路が首都高より緊急に借りたタイヤショベル



スタック車両を緊急救助する鹿島道路職員

地域イベントへの参加

みんなでつくっちゃオ IN 瀬野幼稚園

中四国支店の安芸バイパス大仙トンネル舗装工事では、広島市安芸区広島市立瀬野幼稚園で、コミュニケーション授業(出前授業)を行いました。

重機試乗や工作などの授業がとても好評でした。園児たちは重機を直接触れることができ、とても貴重な体験となりました。



高所作業車試乗



バックホウ試乗

近隣小学校への舗装と花壇の整備

関東支店の古河地区道路休憩施設駐車場整備工事では、本工事に理解と協力をいただいた近隣に位置する大和田小学校の生徒や保護者の方々に感謝し、構内の駐車場と花壇の整備を行い、感謝状をいただくとともに整備の状況を学校便りに掲載していただきました。



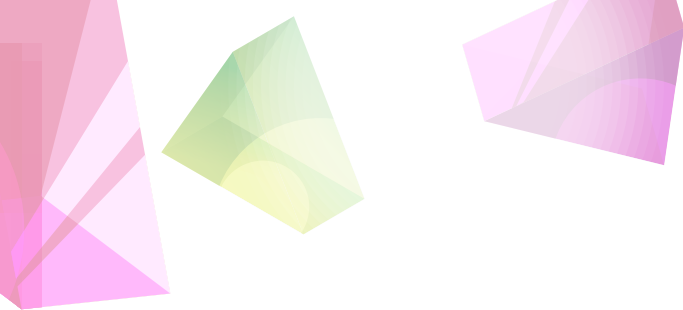
花壇整備



駐車場整備



学校便り



私のCSR

北海道支店では、地域貢献活動の一環として「ちびっこサッカーフェスティバル」や支店の前を通る国道の歩道清掃等を行っています。特に清掃活動は地域の道路美化に対する意識を高めるとともに、地域住民に感謝されることに喜びを感じます。

北海道支店 北海道営業所 事務主任 横尾 誠一



地域社会との共生

姉川橋舗装工事見学会

関西支店の滋賀県長浜市酢の「姉川橋舗装工事」において、地元の「とらひめ認定こども園」の園児ら100名が現場を見学しました。園児たちは歩いて姉川橋を往復し、橋の舗装について説明を受け、新設された舗装や橋の上を歩き、貴重な体験をしました。



国道8号姉川橋渡り初めの園児



姉川橋の河川敷で園児が働く機械に試乗

Voice

2013年10月10日に、地元の園児たちを招待して、工事の完成記念見学会を開催しました。開始前は園児たちが喜んでくれるかどうか不安でしたが、完成したての綺麗な橋を歩いてもらったり、工事に使用した重機に乗ってもらい、歓声と笑い声に包まれたとても賑やかな催しになりました。見学会は、予定時間が大幅に過ぎてもみんな帰りがたらないくらいの大盛況ぶりでした。お別れのあいさつに園児たちから大きな声で『ありがとう』『楽しかった』『また渡りにくるね』と言ってもらった時には、地域に密着した仕事をするということへの充実感と誇りが溢れてきました。この仕事をしてよかったと思う瞬間です。この道路橋がこの先何十年と使用し続けていくであろう園児たちの成長とともに地域の活性化に貢献してくれることを切に願うばかりです。



関西支店
関西北営業所
姉川橋舗装工事事務所
現場代理人

山本 祐輔

自転車レーン利用促進への取り組み

神奈川県茅ヶ崎地区での自転車レーン設置工事において、「自転車レーン」の意義や利用方法を地元住民の方々に知ってもらうために、自治会主催の「自転車レーンの街頭周知会」に参加し、「街頭指導用パンフレット」の原案を作成し、配布用のクリアフォルダ2,500枚の寄付も行いました。そのほかにも、音声案内機の設置や、パンフレットの街頭での配布、掲示板・自治会回覧板への掲載等、様々な周知活動

を実施し、住民の方に自転車レーンについての知識をより深めてもらうように活動しました。

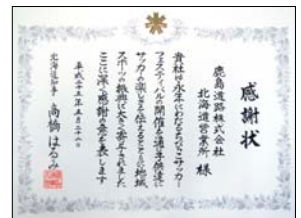
そして、自転車の利用促進、安全啓発活動に積極的に取り組んでいる「自転車のまち」茅ヶ崎市で開催している自転車の都市型総合イベント「ちがさきヴェロフェスティバル」に参加し、展示ブースでパネルの展示を行いました。



ちがさきヴェロフェスティバルの様様

ちびっこサッカーフェスティバルが北海道知事より感謝状

2013年5月、北海道営業所は、地域スポーツ振興でこれまでの12年間の開催による功績をたたえられ、北海道知事より感謝状を受けました。また、6月には小学2年生以下を対象とした第12回「ちびっこサッカーフェスティバル」が開催され、道内各地より24チーム、324名が出場し、鹿島道路杯をめぐって、熱戦を繰り広げました。



Voice

2014年6月28日、29日に開催された大会で13回目を迎えます。このように継続して盛大に開催できるのも各クラブチームの皆さま、協賛会社の皆様、前田中央フットボールのスタッフの皆さまの日頃からのご支援、ご協力の賜物と思っております。改めて心より感謝を申し上げます。



北海道支店
支店長

高橋 一

ステークホルダーとの コミュニケーション

お客様からのお言葉と評価

鹿島道路の持つ高い技術力は、官公庁より高い評価を頂いております。また、施工地域にお住まいの住民の皆さまから『気くばり』を評価頂き、嬉しい表彰を賜りました。民間のお客様については、一定規模以上の工事について、施工完了後にお客様の施工に対する満足度アップを図るため、「お客様満足度シート」としてアンケートにご協力頂いております。お客様からは、お褒めのお言葉だけでなく、ご指摘も頂き、その内容について改善するように努めています。

淀川左岸線舗装工事 無災害表彰

2013年6月19日、阪神高速道路株式会社様より、当社施工の「阪神高速道路2号淀川左岸線(島屋～海老江ジャンクション)」に対し感謝状を賜りました。複雑な道路線形における大規模なポーラスコンクリート(排水性コンクリート)舗装といった技術的難度の高い条件での施工に高い評価をいただきました。



国土交通省近畿地方整備局からの工事成績優秀企業

2013年7月25日、近畿地方整備局より工事成績優秀企業の認定をいただきました。本認定は、公共工事の透明性確保や技術力の向上を一層促進するため近畿地方整備局が実施する請負工事成績評価の結果について、企業ごとの平均点を算出して順位付けを行い、一定以上の点数となる企業を表彰するものです。



姉川橋舗装工事 長浜市酢自治会より感謝状

2013年11月21日、長浜市酢自治会様より感謝状を賜りました。当社施工担当の姉川橋舗装工事においては周辺生活道路を常時規制しながらの作業となりましたが、誠実かつ丁寧な説明を行い、安全に工事を竣工することにより、信頼をいただくことができました。



お客様アンケートの声

1 元請地元建設会社様より

「メガソーラー建設工事という、特殊な工事であるために、作業員の確保に苦労されたかと思います。ほかの会社担当工区の人員まで紹介していただき、当社に大変協力的であったこと、感謝申し上げます。安全面では、熱中症対策に配慮いただき、品質も良く管理されており金額面でも協力していただき、誠にありがとうございました。」

2 元請地元建設会社様より

「元請である当社の施工打合せ不足により、当初予定の工程通り進まなくてご迷惑をおかけしたにもかかわらず、最後の表層を工程の厳しい中施工していただき大変助かりました。また、夜間施工にもかかわらず、苦情もなく無事完成できましたことを心より感謝申し上げます。」

3 元請ゼネコン様より

「擁壁地盤改良の再設計により擁壁工事が遅延し、また原価、工期ともに非常に厳しい工事でありましたが、施工の工夫により合わせていただきました。擁壁コンクリートは全般的に綺麗に打設されており、工事担当者の方には、施工図の作成等、非常によく対応していただき、感謝しております。」

コミュニケーション

鹿島道路では、国内外や年代を問わず、皆さまとの多種多様な交流を通じ、社会への貢献を実践するとともに、わたしたち自身の見識を広めることにも役立たせていただいております。

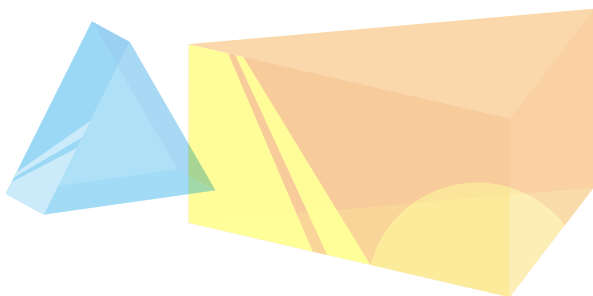
ホームページからの情報発信

ホームページに会社情報をはじめ、技術や施工実績などを公開し、最新の活動内容をお届けしています。(http://www.kajimaroad.co.jp/)

また、施工や技術、採用などについて幅広く、皆さまからの問い合わせを受け付けておりますので、どのようなことでもお問い合わせください。



鹿島道路ホームページ



お客様が今何を求めているのか的確に捉え、ニーズに最適な旬の技術を提案するようにしています。また、お客様に喜んでいただけるように、施工中および竣工後もフォローし、お客様の満足度を確認するように心掛けています。

私のCSR



関東支店 関東北営業所 営業主任 岡本 篤

技術情報誌『KIT』の発行

2001年より技術情報誌『KIT』を発行し、当社の技術や工法、施工実績、安全への取り組みなどの情報を年4回(4・7・10・1月)発行しています。



技術誌『KIT』

Voice

わたしは技術情報誌『KIT』の編集を担当しています。『KIT』は毎月3,000部が発行され、お客様・学生・社員へ配布しています。毎月、お客様からはご好評いただき、部数が不足することもあります。社内からも“自分の記事や写真が載って嬉しかった”“励みになる”等の感想をいただき、作りがいを感じています。当社の技術や実績等をPRし、皆さまとの良いコミュニケーションを保つ役割を果たせるように編集してまいりますので、今後ともご愛読よろしくお願い致します。



経営企画部
広報課 係長

名須 季久

クウェートからの研修

クウェート公共事業省の行政官の方々が、「アスファルト舗装技術向上研修」の一環として当社栗橋機械センターにて研修に臨まれました。路上再生工法などの特殊施工機械の説明や情報化施工等のデモンストレーションなどの研修を熱心に受けていました。



情報化施工のデモンストレーション

長崎市主催のちびっ子サッカー教室のお手伝い

2013年3月16日、人工芝化されリニューアルされた長崎市営ラグビー・サッカー場(当社施工)において、市民の皆さんへのお披露目として、ちびっ子サッカー教室が開催され、当社は運営のお手伝いを行いました。当日は地元Jリーグチーム、V・ファーレン長崎のスタッフの指導のもと、小学3年生までのお子さん260名が参加され、ドリブルやシュートなどを練習しました。



ちびっ子サッカー教室の様様

海外工事

KRO(タイ現地法人)の小野社長が、カンボジアで開催された日カンボジア道路セミナーにて、当社の保有技術、現地再生路盤工法に関する講演を行いました。会場では省資源、省エネルギー、公害抑制に効果的な工法についての説明に対して、熱心に耳を傾ける姿が見受けられました。



KRO小野社長による講演

新潟県アスファルト合材協会 研修会

2013年1月15日、新潟県アスファルト合材協会主催の研修会が舗装各社33社の品質管理担当者を集めて開催され、当社担当者も参加しました。砕石製造業の担当者様による講演や、試験舗装の事例の報告等が行われました。



研修会の模様

大学での講演会

当社技術研究所鬼倉主任研究員が、母校である東京理科大学理工学部土木工学課加藤准教授の依頼により、2年生約130名を対象とした「舗装基礎講座」を90分にわたり講義しました。



鬼倉主任研究員による講演

合材製造所研修の実施

知立合材製造所および技術試験所が、愛知県知立建設事務所の依頼により、舗装工事に関係する職員9名に対し、知立合材製造所においてアスファルト合材研修会を開催しました。研修会では、2時間にわたりアスファルトプラントおよび試験機の現地説明や配合設計等に関する講義を行いました。



研修会の模様

第三者意見

CSRレポート発刊によせて



溝呂木 敦
Atsushi Mizoroki

略歴

ソブリン・コンサルティング株式会社 代表取締役
高砂香料工業株式会社 安全統括本部 顧問
インプレッション株式会社 取締役
Certification International (UK) Limited
-Executive Corporate Adviser
CFE 公認不正検査士
CCSA 内部統制評価指導士

リスクマネジメントベースの企業経営に関する専門家として、事業運営、製品開発、製造、リソース管理、サービス、コンプライアンス、環境対策、IT/セキュリティ対策、エンパワメント、倫理行動、法務、業事、国際事業などの分野に“システム”（＝仕組み）を導入することで、成長促進とCSRの実現に向けて多くの企業をサポートしている。

2013年より、ネガティブな『3K』業界のイメージ脱却を目指して、ポジティブな『新5K』の定着に社長主導で取り組んでいることは、優秀な若手人材の採用が難しい業界であるだけに、喫緊のテーマとして高い意義があると思います。『新5K』が鹿島道路内はもとより、日本を支える建設業界の未来志向の姿として広く支持されるようになるべく、実現・定着されることを期待します。

本書では、昨年の第三者意見で申し上げた課題に対する改善がはかれたことで、障がい者雇用率・離職率が開示されて、『新5K』の実現に関わるベンチマークデータが見えるようになりました。離職率が低い（定着率が高い）ことは、『新5K』の実現の程度を表す「物

差し」となるだけに、『新5K』活動の成果を来年の報告書で誌面を飾るトピックとできるよう、結果に繋がるアクションプランをもって臨む必要があります。

■その他、特に下記の点については、実績・報告内容面でアドバンテージがあります。

1. 2013年版への各種意見を生かして、誌面を刷新・改善した点
2. 「会社法におけるリスク管理と活動」を取扱うことで、会社法への対応を適切に報告している点
3. 「著作権の対応について」、新聞・書籍・地図について各法人と複製利用許諾に関する契約を締結することで著作権保護の取り組みが大変分かりやすく解説されている点
4. 中温化技術の飛躍的な向上でCO₂削減に大きく寄与することが期待できる点
5. 霧島太陽光発電所の開設など、道路事業以外の面でも環境対策に成果を上げている点

■一方、以下の点については、来年度へ向けに見直しと強化をはかることを期待します。

1. 労働基準法違反に伴う処分を受けることとなった点は、企業として真摯に再発防止に取り組むべき事態です。『新5K』の実現のためにも、来年度のCSR報告書で取り組みの成果が示されることが望まれます。
2. 「技術開発」「社会貢献」各種表彰・感謝状など、賞賛に値する活動の一方で、「お客様からのご指摘」（P.20）といったような改善課題にどのような取り組みをしているかといった、“ネガティブ系の情報”面についての充実化。

第三者意見を受けて



代表取締役副社長
石川 誠一

溝呂木先生、いつも様々な観点から貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。

昨年ご指摘いただきました、環境に関するデータや障がい者雇用率・離職率のデータを掲載し、当社の取組みをより広く報告することができました。

今回多くの点について良い評価いただきました。また、毎年改善点をご指摘いただき、当社はそれらの改善に向けて年々内容の充実を図ることができております。

さらに、来年度へ向けたい見直しと強化をはからなければならない点についてもご指摘いただきました。至らない部分に対して改善していくことは当社が社会的責任を果たしていく上で非常に大切なことと思います。今後改善に向けた取り組みをステークホルダーの皆様にご報告していきたいと考えております。

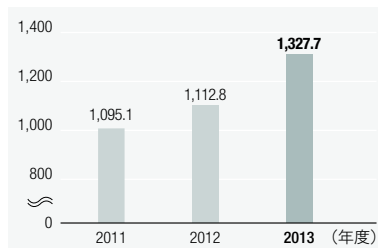
溝呂木先生よりご指導いただきました点やステークホルダーの皆様からのご意見等についてPDCAを回し、今後も社会的責任を果たしていく企業として努力し、社会からより信頼される鹿島道路を目指してまいります。

会社データ

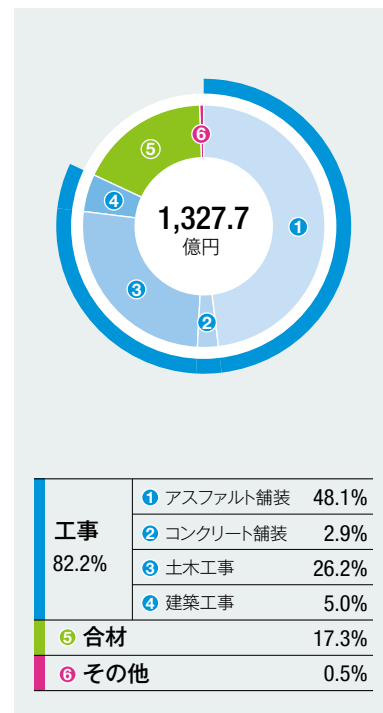
コーポレートデータ

商号	鹿島道路株式会社
設立	1958年2月18日
所在地	〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 03-5802-8001
資本金	40億円
従業員数	975名
事業所数	支店：10ヶ所 営業所・出張所：75ヶ所 合材製造所：61ヶ所

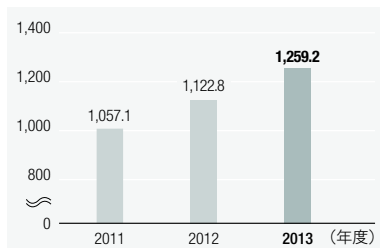
受注高
(億円)



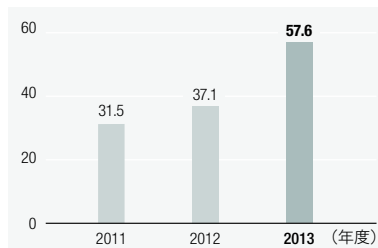
セグメント別受注高



売上高
(億円)



経常利益
(億円)



支店一覧

- 北海道支店
〒006-0033 北海道札幌市手稲区稲穂3条3-9-15
011-699-7744
- 北日本支店
〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル
022-216-8501
- 関東支店
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-6-9 鹿島浦和ビル
048-872-8001
- 東京支店
〒112-004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル5F
03-5802-8021
- 横浜支店
〒220-0001 神奈川県横浜市西区北軽井沢63
045-312-8061
- 北陸支店
〒950-0986 新潟県新潟市中央区神道寺南2-6-15
025-243-3851
- 中部支店
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-10-13 SC錦ANNEX 2F
052-204-0770
- 関西支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル9F
06-6910-3701
- 中四国支店
〒732-0814 広島県広島市南区段原南1-3-53 広島イーストビル8F
082-567-4567
- 九州支店
〒812-8665 福岡県福岡市博多区博多駅前3-12-10 鹿島建設ビル
092-451-4356
- 機械センター
〒349-1125 埼玉県久喜市高柳2600
0480-52-1311
- 技術研究所
〒182-0036 東京都調布市飛田給2-19-1
042-483-0541



鹿島道路株式会社 経営企画部

〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 03-5802-8003

<http://www.kajimaroad.co.jp/>



**NON
VOC**

本報告書は環境に配慮し、FSC® 認証紙を使用し、VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロのNON VOCインクを使用しています。